



やまもと さとし
山本 聡 議員

新しい人の流れをつくる、 について問う

議員 人口減少社会の到来を見据えて本市は定住促進ビジョンを策定し、第6次総合計画では移住の促進を提示した。土地利用の計画見直し事業、市有地の売却、ふるさと納税推進の進捗事業、小中一貫教育の推進、子育て世代包括支援センターについてたずねる。

市長 令和2年7月に立地適正化計画を作成し、JR笠岡駅周辺や番町地区を中心とした居住誘導区域を設定、同年12月には住吉地区において建物の高度利用促進が図れるよう用途地域の変更及び地区計画を策定した。ふるさと納税も成果を上げている。また、定住促進の観点から住宅地等の確保に向けて未利用市有地の積極的な売却を行っている。小中一貫教育を推進し、子育て支援策は工夫しながら

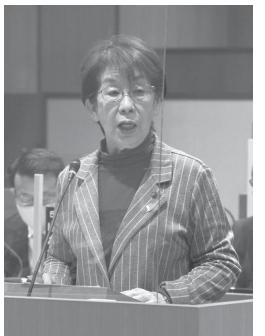


ら様々な取組を実施している。

一人暮らし世帯の安全網 の構築について問う

議員 令和2年国勢調査で1人暮らし世帯の増加が顕著になった。65歳以上の単身世帯と島しょ部の単身世帯の現状と対策をたずねる。

市長 市全体の世帯数は平成12年の1万9786世帯から令和2年の1万8466世帯へ減少した。高齢者1人世帯の占める割合は、10・4%から16・3%へ5・9ポイント上昇した。島しょ部は住民基本台帳のデータで65歳以上の1人世帯は令和2年が494世帯で割合は49・2%となり、20年間で95世帯増加した。対策として地域包括ケアシステムの推進が必要で、地域での重層的なケアが求められている。救急艇の整備事業を計画し、島しょ部の方が安心して生活できるよう施策を推進する。



はらだ
原田てつよ 議員

笠岡市小規模工事等契約 希望者登録制度について問う

議員 市が発注する50万円未満の工事、修繕における受注機会拡大のための制度であるが、登録業者から、発注に不公平感があるとの声を聞く。どう考えているか。

産業部長 契約に至るまでの状況を十分把握していなかった。事業者から発注が少ないという声も届いており、反省している。発注件数の多い部署間や庁内の調整会議でも周知を図り、今年度から全庁的な共有フォルダで各課の発注状況を見られるようにした。発注が少ないため登録が伸びていない現状もあるので、チラシを作成し、業者への周知も図っていく。

議員 長年の声がやっと届いたのかと思う。不公平感のない制度にしていたかどうかを願っている。



選挙の期日前投票所 についての考えを問う

議員 期日前投票所は、島しょ部を除き、分庁舎2階の教育委員会会議室のみである。施設入所者の方や車椅子利用者の方が数名一緒だと、エレベーターを数回占領することになる。また、代筆の場合の待機場所も狭く、他の人に迷惑ではないかと感じ肩身が狭いとの声を聞く。バリアフリーの時代に合った他の場所は考えられないか。

選挙管理委員長 場所の選定には条件が幾つかあり、システムの情報連携に伴うセキュリティの確保、選挙管理委員会の管理が行き届く必要がある等、現行の場所が最適と認識しているが、皆様の意見をいただきながら改善していきたい。

議員 誰もが行きやすい投票所となるよう要望する。